



Japan Warranty Support

2023年9月期 第1四半期 決算説明資料

ジャパンワランティサポート株式会社
証券コード：7386
2023年2月9日



目次

- 01. — サマリー
- 02. — 2023年9月期 第1四半期 業績
- 03. — 2023年9月期 業績予想
- 04. — 株主還元 (配当開始を予定)



— 参考資料







サマリー



- ✓ 第1四半期実績は売上・利益とも **過去最高**。進捗は **計画通り**
- ✓ 通期見通しは売上・利益とも二桁成長の **過去最高** を見込む
- ✓ 計画を前倒し、初の **配当** を **30円** /株で実施予定 (中間15円、期末15円予定)

業績ハイライト

		売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第1四半期	結果 (百万円)	396	140	151	102
	前期比	+15%	+2%	+8%	+11%
	ハイライト	既存サービスのストック売上増加+新規登録数増加(過去最高の有効会員数増加)による。今後第2の売上・利益の柱となるBPOを本格スタート。	事業規模拡大に伴う先行投資及び今期より新たに発生した費用(株主総会費用、外形標準課税)が営業利益を圧縮。その影響を除くと YoY+11% 超の成長。	投資有価証券売却益が8百万円発生。今後は潤沢な現預金の投資運用による営業外収益拡大を計画。	第1四半期過去最高の着地。
	詳細ページ	P6~8	P9~11	P12	P13
	上期計画に対する進捗	50% 好  調	50% 好  調	50% 好  調	53% 好  調
通 期	計画 (百万円)	1,711	603	659	428
	前期比	+18% 過去最高	+9% 過去最高	+20% 過去最高	+19% 過去最高

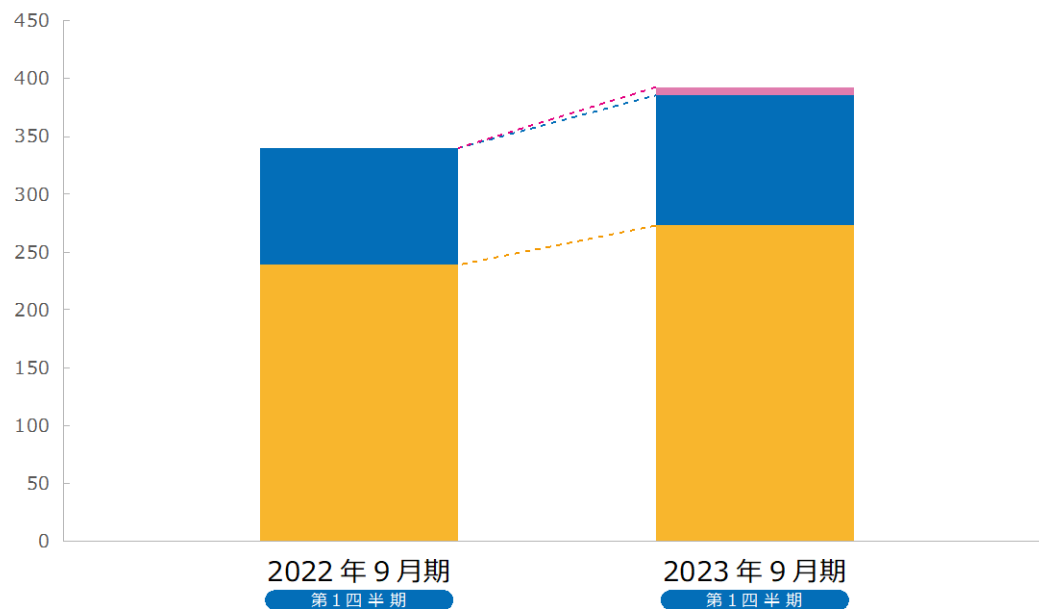
2023年9月期 第1四半期 業績



既存サービスの延長保証によるストック売上の増加 + 新規登録数増加 → 前年同期比 **+15%**

さらに今後は 売上・利益の第2の柱となるBPOの本格スタートによる**大幅増収**をプラスオン

[百万円]



■ BPO
■ 保証サービス一括計上分 [事務手数料及びあんしん住宅サポート24h]
■ ストック売上

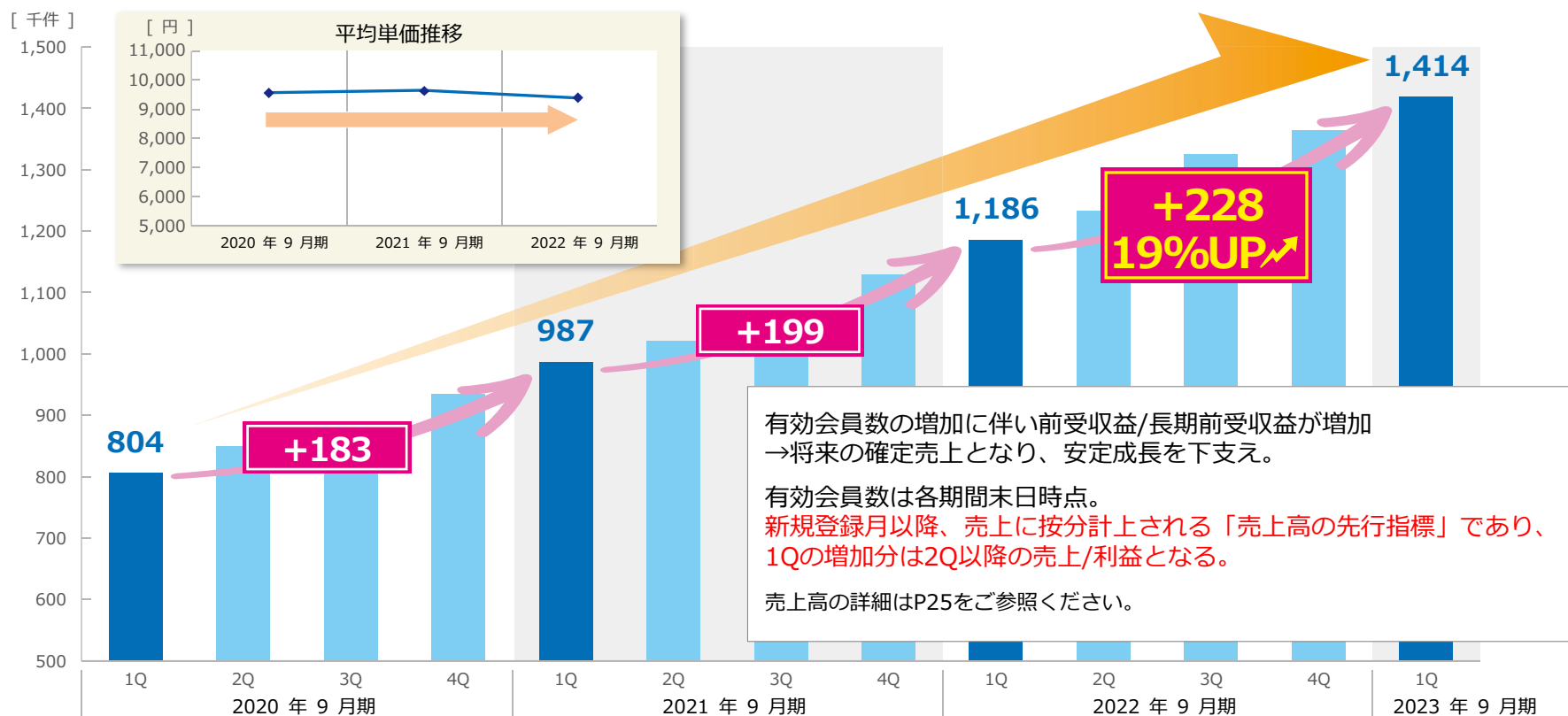
売上高 内訳

- ストック売上**
 有効会員の増加に伴い堅調に増加
- 保証サービス一括計上分**
 延長保証サービスの新規会員登録の事務手数料及びオプションサービス「あんしん住宅サポート24h(カギ・水まわり・ガラスの生活トラブル解決サービス)に係る売上。
 延長保証サービスの新規会員登録増加及び「あんしん修理サポート24h」の拡大に伴い増加
- BPO**
 コールセンターを中心に本格的にサービス開始

※2022年9月期第1四半期は、四半期財務諸表を作成していないため参考値

有効会員数^(※)は創業以来**安定的に大きく成長**。前年同期比**+19%**となり今後も**拡大継続**を見込む
 会員単価は低単価商品であるリユース修理サポート(中古住宅設備保証)が拡大する一方、ハウスメーカーを中心としたパック保証(セットプラン)も拡大し、横ばい(前期比±3%以内)を維持

有効会員数 推移



(※)過去に当社サービスに登録された全会員から保証期間が終了した会員を差し引いた、当社サービスの会員として有効な登録数

時代のニーズに合わせ、延長保証**新サービス**をリリース

今後も新サービスを続々リリース予定。新規取引企業も順調に**増加**

新サービス

▲ V2H(EV用パワーコンディショナ)延長保証

EV用パワーコンディショナ V2Hの延長保証サービスをリリースしました。

◇サービス 概要

保証対象機器：V2H

保証対象部位：本体

保証対象外：充放電コネクタ付きケーブル、ガン

保証期間：10年

◇今後

V2Hの延長保証サービスにより、提携メーカー様とV2Hの普及促進、安心できる長期的な設備利用を会員様にお届けいたします。

さらに今後はV2Hだけでなく、太陽光関連設備、蓄電システム、急速充電器等といった再生可能エネルギー関連商品や省エネ機器への保証サービスリリースも計画中です。

新規取引企業

▲ 延長保証

株式会社ツクルバ

TSUKURUBA

他31社

▲ BPO

株式会社ウッドワン

WOODONE

東邦ガス株式会社

東邦ガス

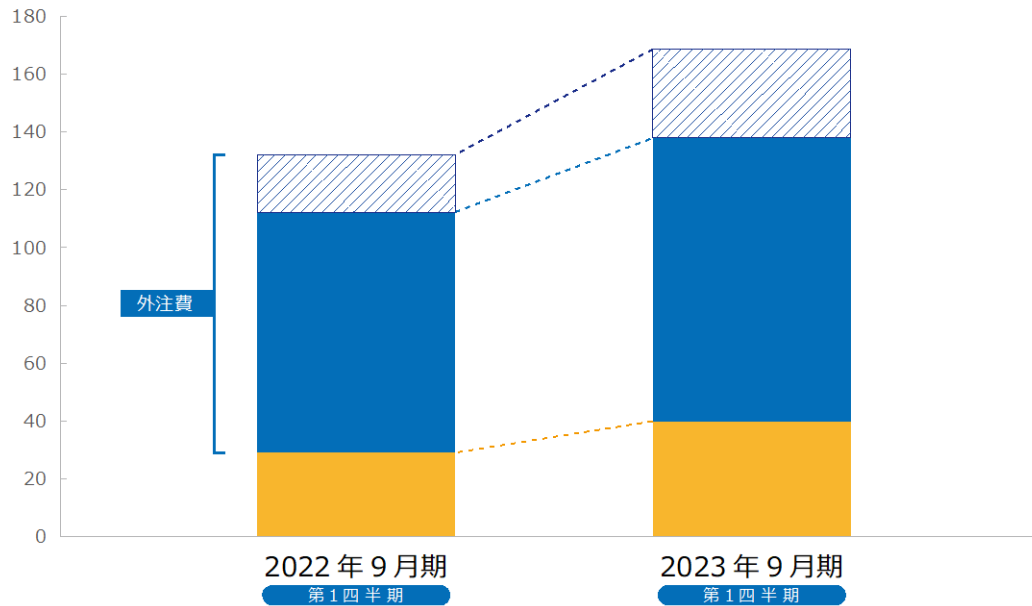
マックス株式会社

MAX[®]

他6社 (50音順)

有効会員数の増加に伴い外注費が増加するものの、保険料収入も増加し、売上総利益率は変動なし
 実質外注費は円安・物価上昇という外部環境悪化の下、独自ノウハウ、マニュアルによる一人当たりの生産性向上のため、**計画通り**

[百万円]



保険料収入
 実質外注費
 一般保険料

売上原価 内訳

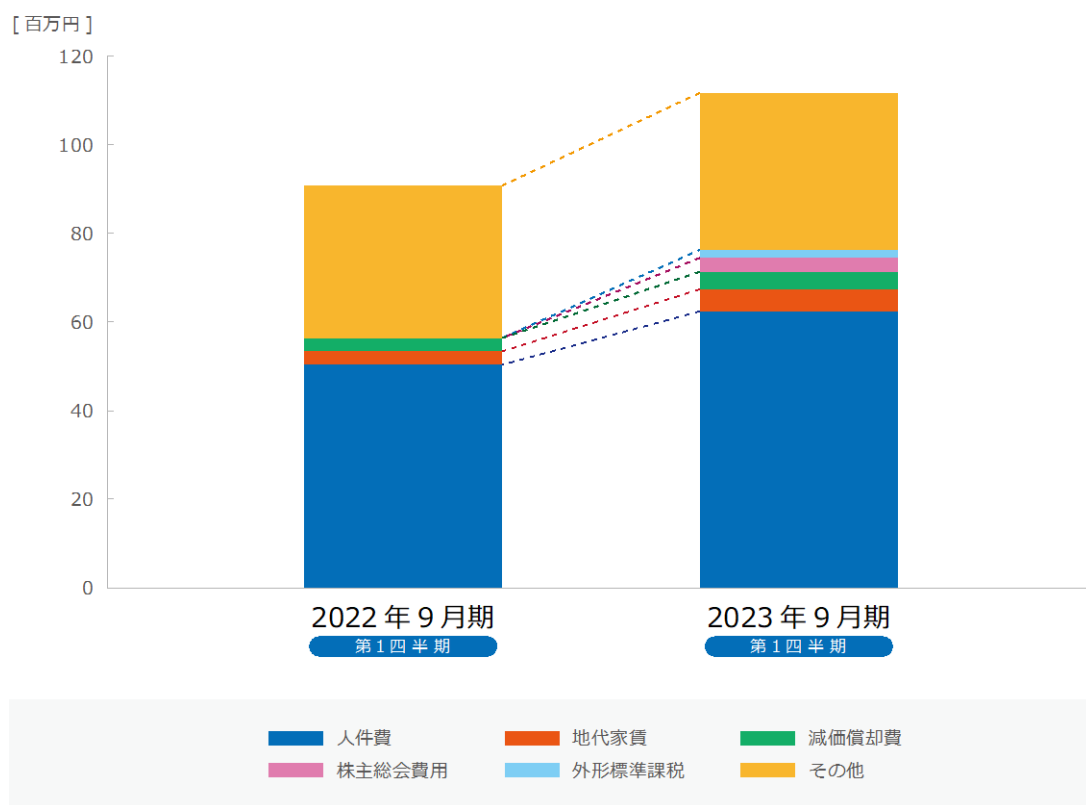
- 実質外注費
99百万円
YoY +20%
- 外注費
130百万円
YoY +25%
- 保険料収入
-30百万円
YoY +44%
- 一般保険料
40百万円
YoY +30%

※2022年9月期第1四半期は、四半期財務諸表を作成していないため参考値

今期より発生：上場に伴う株主総会費用 / 資本金の増加に伴う外形標準課税^(※)（合計6百万円）

費用拡大：規模拡大に伴う人件費(人員増)、地代家賃(CS拡大移転)、DX推進に伴う減価償却費を先行投資

※外形標準課税が適用される分法人税等の税率が低くなるため、純利益への影響は軽微



販管費 内訳

拡大発生

■ 人件費	62百万円	YoY+20%
■ 地代家賃	5百万円	YoY+48%
■ 減価償却費	4百万円	YoY+30%

今期より発生

■ 株主総会費用	3百万円	前期実績なし
■ 外形標準課税	2百万円	前期実績なし

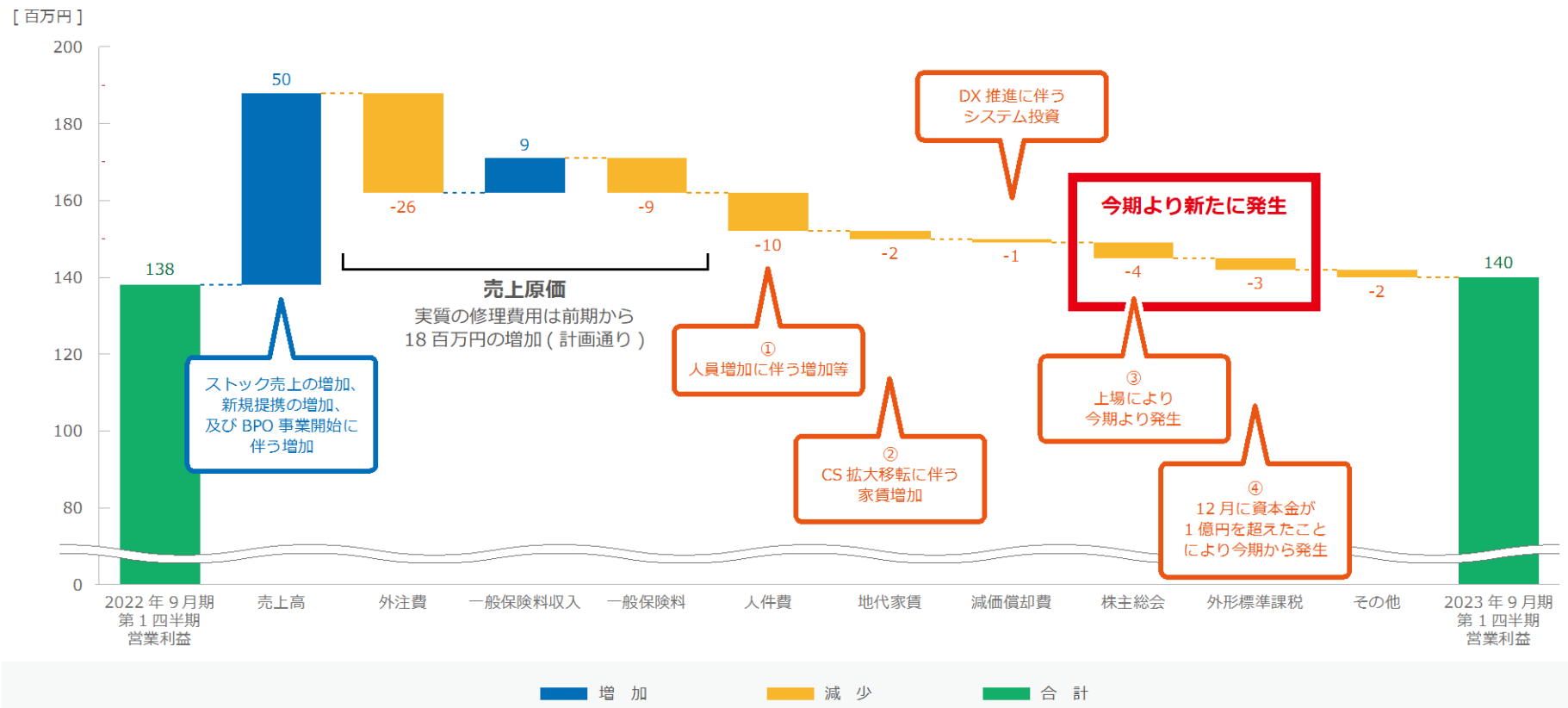
■ その他	36百万円	YoY+8%
-------	-------	--------

※2022年9月期第1四半期は、四半期財務諸表を作成していないため参考値

前年同期比を同条件で比較^(※)した場合の営業利益は154百万円と、 前期比+11%超の成長

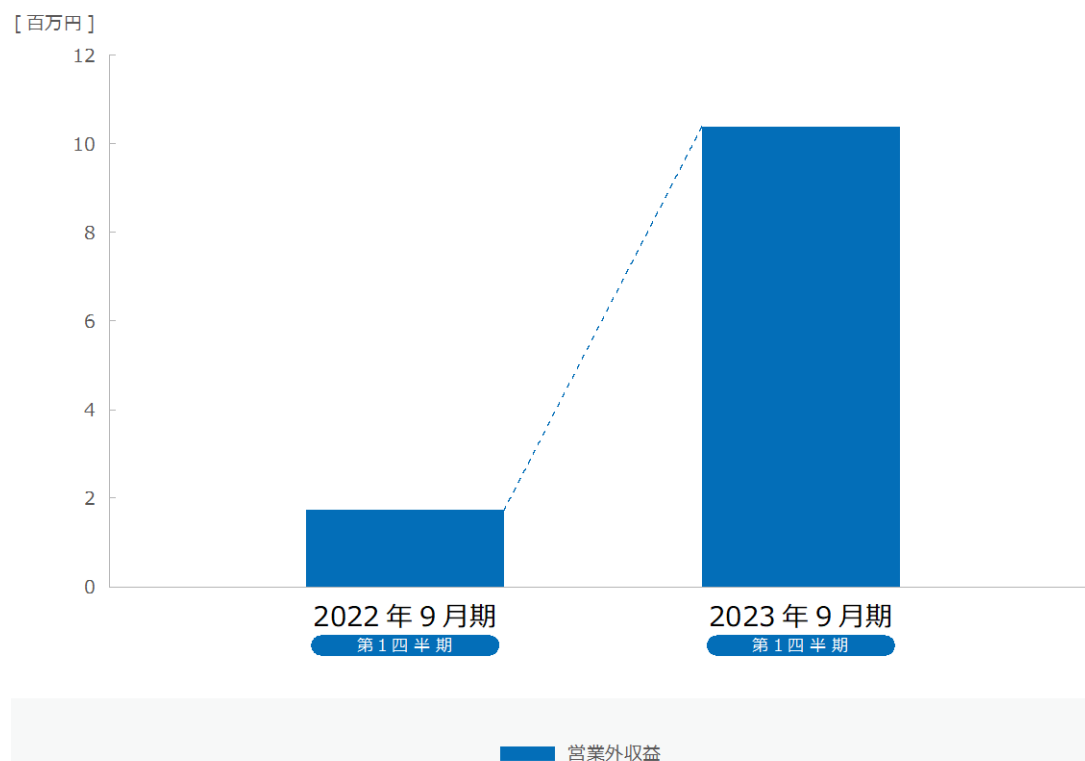
※前年同様の条件とするため、①人員増加 ②CS拡大移転に伴う設備投資・家賃 ③株主総会費用 ④外形標準課税 による影響を除いて比較

営業利益 増減分析



投資有価証券売却益 **8**百万円

今後も潤沢な現預金の投資運用による **営業外収益拡大**を計画



営業外収支 内訳

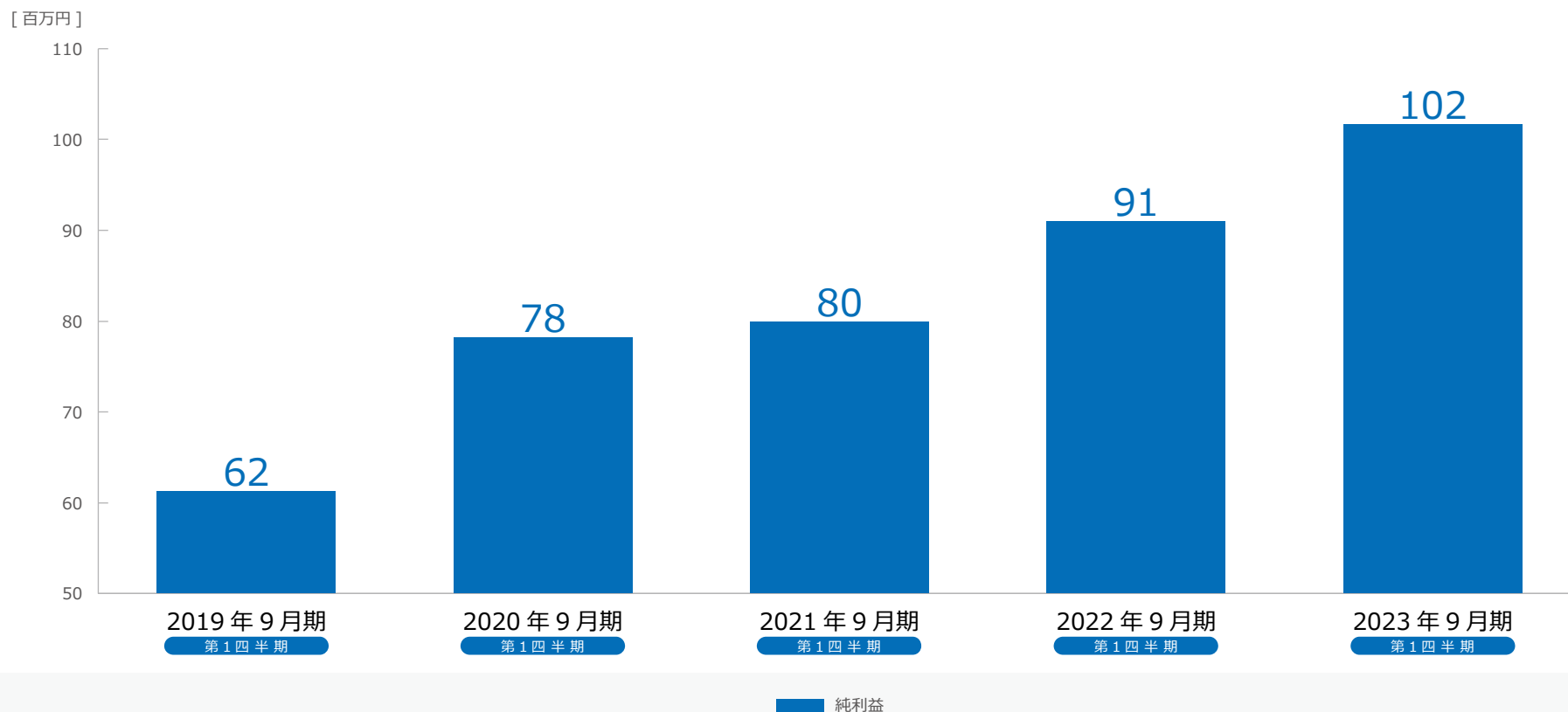
- 営業外収益
投資有価証券売却益 8百万円
YoY+6283%
- 営業外費用
投資有価証券管理数料 0.4百万円
YoY-12%

※2022年9月期第1四半期は、四半期財務諸表を作成していないため参考値

純利益は第1四半期**過去最高**となる**102**百万円

前年同期比 **+10**百万円、**11%**の成長

第1四半期純利益 推移



※2019年9月期～2022年9月期第1四半期は、四半期財務諸表を作成していないため参考値

2023年9月期 業績予想



売上・純利益とも**二桁成長**・**過去最高**を見込む

売上高

1,711

百万円
YoY + **18%**

営業利益

603

百万円
YoY + **9%**

経常利益

659

百万円
YoY + **20%**

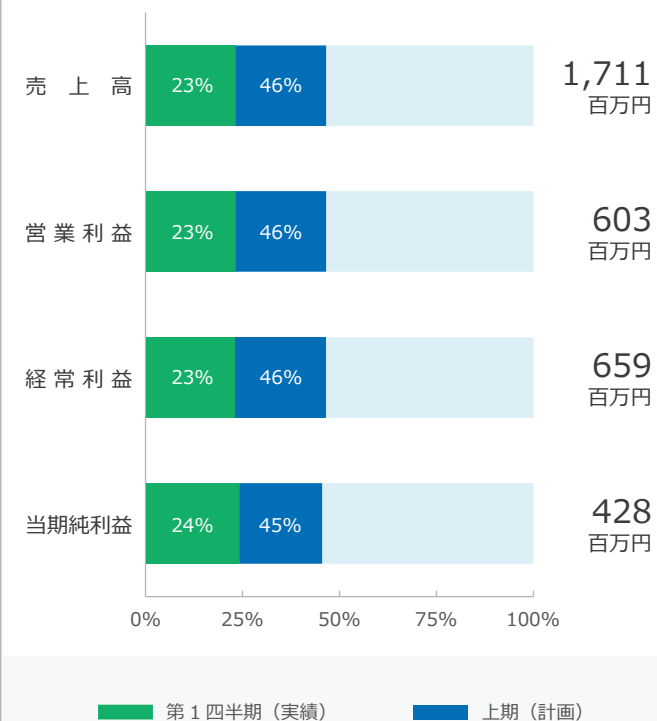
当期純利益

428

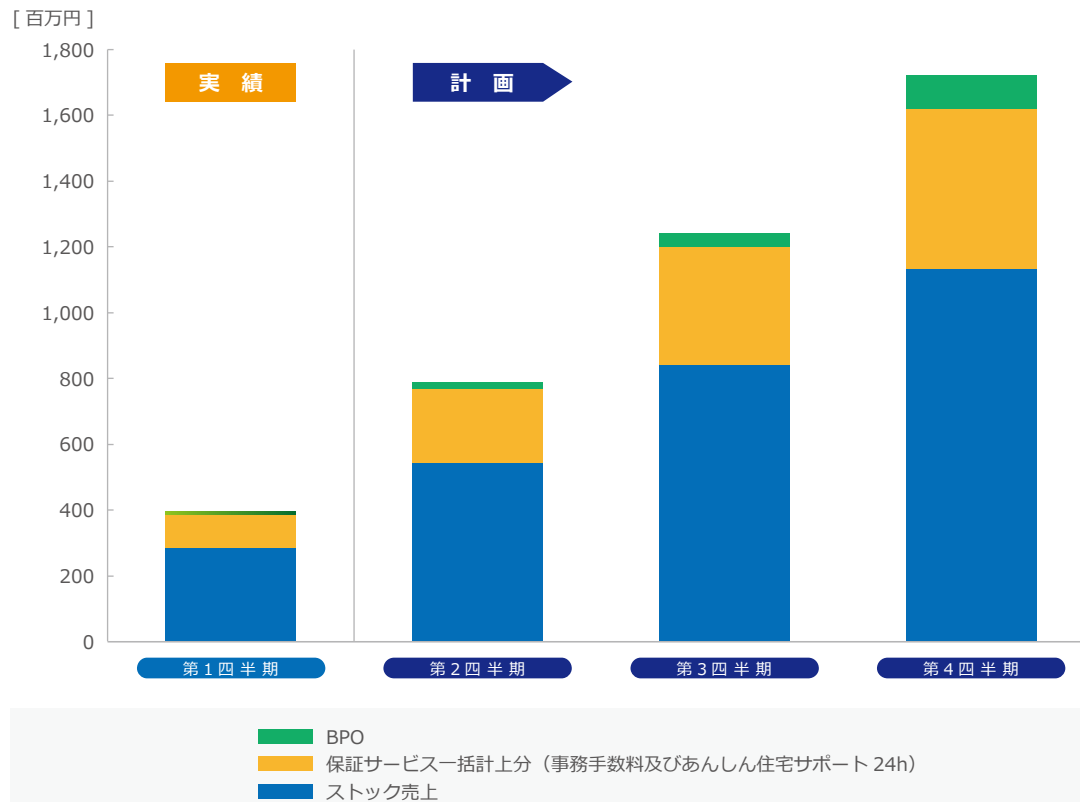
百万円
YoY + **19%**

通期業績予想に対する進捗・計画

(第1四半期実績・上期計画)



既存商品である住宅設備延長保証のストック売上だけでも**+15%**程度の成長を見込む
 安定成長をベースに、中期経営計画の柱である**BPO**も**拡大継続**を見込む

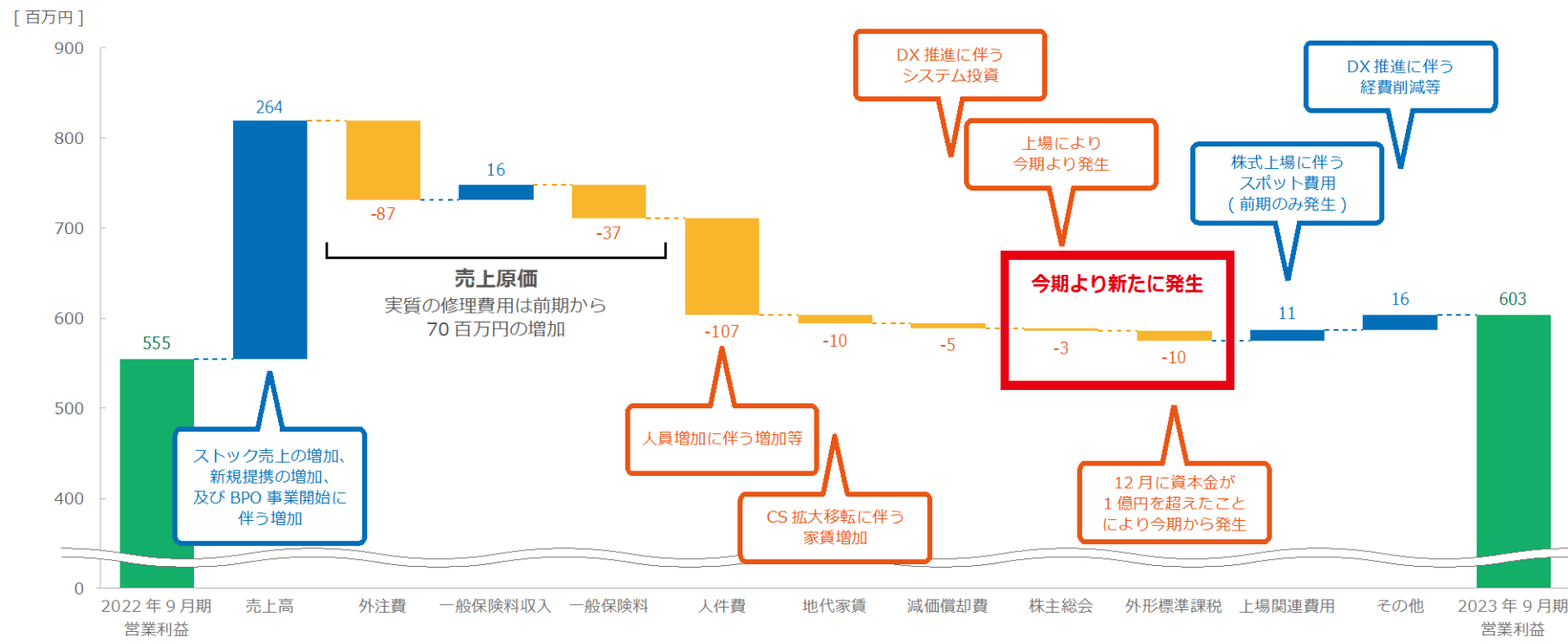


売上高内訳

- **ストック売上**
 有効会員の増加に伴い堅調に増加
- **保証サービス一括計上分**
 延長保証サービスの新規会員登録の事務手数料及びオプションサービス「あんしん住宅サポート24h(カギ・水まわり・ガラスの生活トラブル解決サービス)に係る売上。
 延長保証サービスの新規会員登録増加及び「あんしん修理サポート24h」の拡大に伴い増加
- **BPO**
 コールセンターを中心に本格的にサービス開始

外形標準課税の影響を除いた営業利益は**613**百万円で前期比**+10%超**の成長 今後大きな投資は必要なく、計画達成に大きな懸念は無し

営業利益 増減分析



■ 増加 ■ 減少 ■ 合計

經常利益：**+20%**、当期純利益：**+19%**

經常利益

YoY
+20%

659

(百万円)

493

550

下期
359百万円
(54%)

上期
300百万円
(46%)

2021年9月期

2022年9月期

2023年9月期

当期純利益

YoY
+19%

428

(百万円)

321

358

下期
233百万円
(54%)

上期
194百万円
(46%)

2021年9月期

2022年9月期

2023年9月期

株主還元

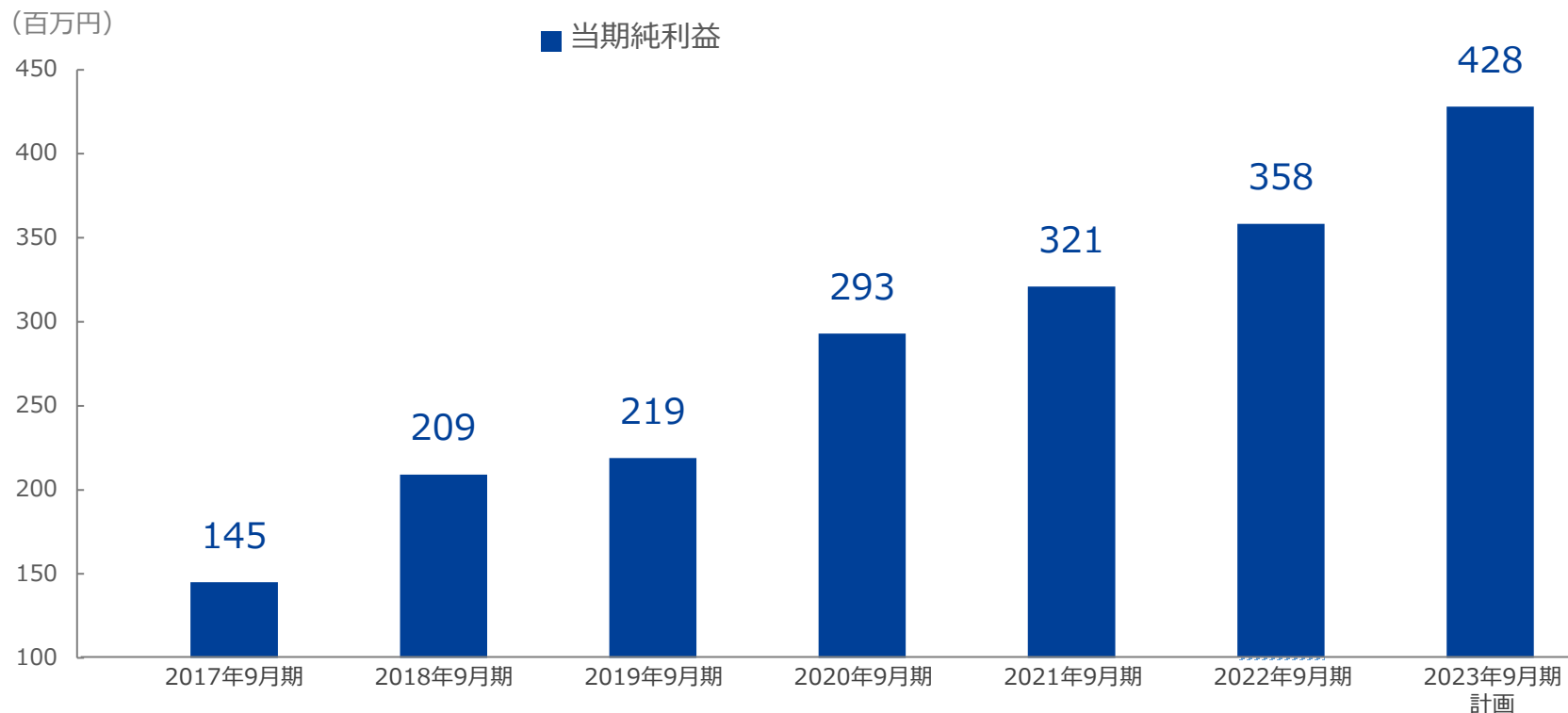


業績好調に伴い上場時の配当計画を前倒し、今期より配当を開始予定

【配当予想】一株当たり配当 **30円** (中間配当：15円/株
期末配当：15円/株)

今後も株主還元を重視し、投資家に選ばれるための取り組みを検討中

純利益推移



参考資料

Appendix



経営理念

～ Quality of Life ～

困っている人に「あんしん」を届けることで社会に貢献する！

会社概要

会社名	ジャパンワランティサポート株式会社	従業員数	28名 (2022年12月末 時点)
代表者	代表取締役社長 庄司武史	事業内容	住宅設備機器の故障による修理対応や不具合の解決をサポートする「あんしん修理サポート」等の運営
設立	2010年3月	取引先	住宅関連会社、電力会社グループ企業、量販店、ホームセンター、ECサイト、大手損害保険会社など
決算日	9月30日	拠点	東京本社 名古屋本部 大阪営業所 カスタマーサポート(名古屋本部内)
本社所在地	東京都千代田区大手町2-1-1 大手町野村ビル7F		
資本金	117,516,135円 (2022年12月末 時点)		

4 おかげさまで 冠達成!!



n=1201 実施対象：全国の男女
調査方法：インターネット調査 調査提供：日本トレンドリサーチ
調査概要：2021年9月 サイトのイメージ調査
本調査はサイトのイメージをもとにアンケートを実施し、集計しております。
サービス（商品）の実際の利用は確認してありません。



n=1201 実施対象：全国の男女
調査方法：インターネット調査 調査提供：日本トレンドリサーチ
調査概要：2021年9月 サイトのイメージ調査
本調査はサイトのイメージをもとにアンケートを実施し、集計しております。
サービス（商品）の実際の利用は確認してありません。



n=82 実施対象：住宅建築会社
「助けていた」「助けていた」と回答した男女
調査方法：インターネット調査 調査提供：日本トレンドリサーチ
調査概要：2021年9月 サイトのイメージ調査
本調査はサイトのイメージをもとにアンケートを実施し、集計しております。
サービス（商品）の実際の利用は確認してありません。

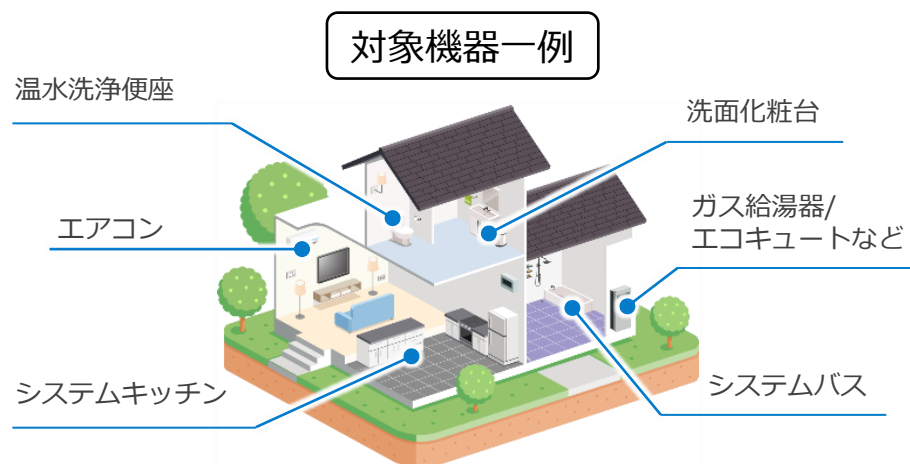


n=1201 実施対象：住宅販売会社
「助けていた」「助けていた」と回答した男女
調査方法：インターネット調査 調査提供：日本トレンドリサーチ
調査概要：2021年9月 サイトのイメージ調査
本調査はサイトのイメージをもとにアンケートを実施し、集計しております。
サービス（商品）の実際の利用は確認してありません。

住宅設備機器の延長保証事業を展開

▲ あんしん修理サポート

家の新品住宅設備機器の故障を最長10年間にわたり保証する、延長保証サービス



▲ あんしん住宅サポート24h



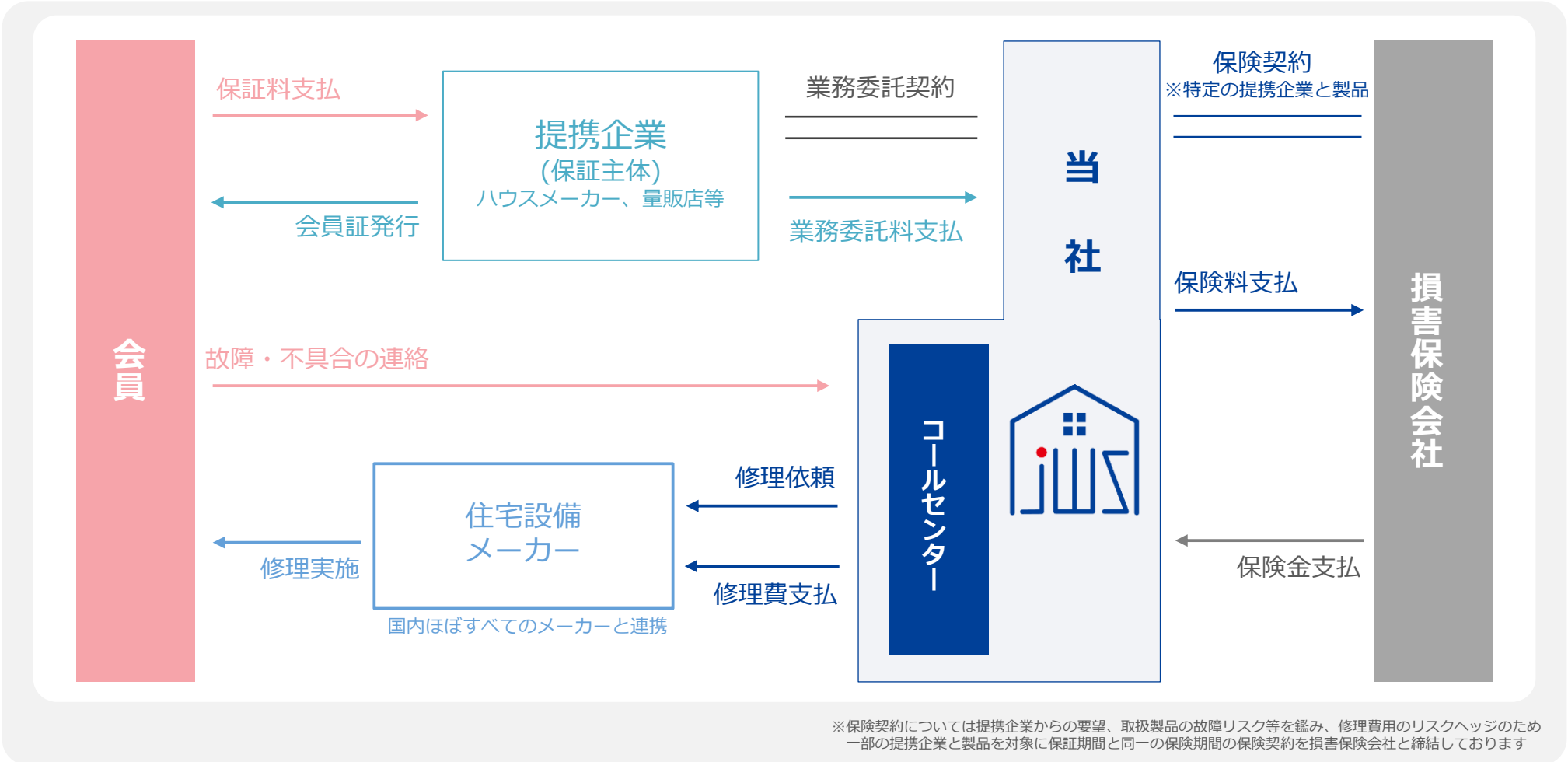
カギ・水まわり・ガラスのトラブル
対応を行う緊急駆け付けサービス

▲ リユース修理サポート



中古住宅設備機器の延長保証サービス

BtoBtoCのビジネスモデルにより、大きな設備投資や広告宣伝が不要
また小規模でも質の高い事業運営が可能

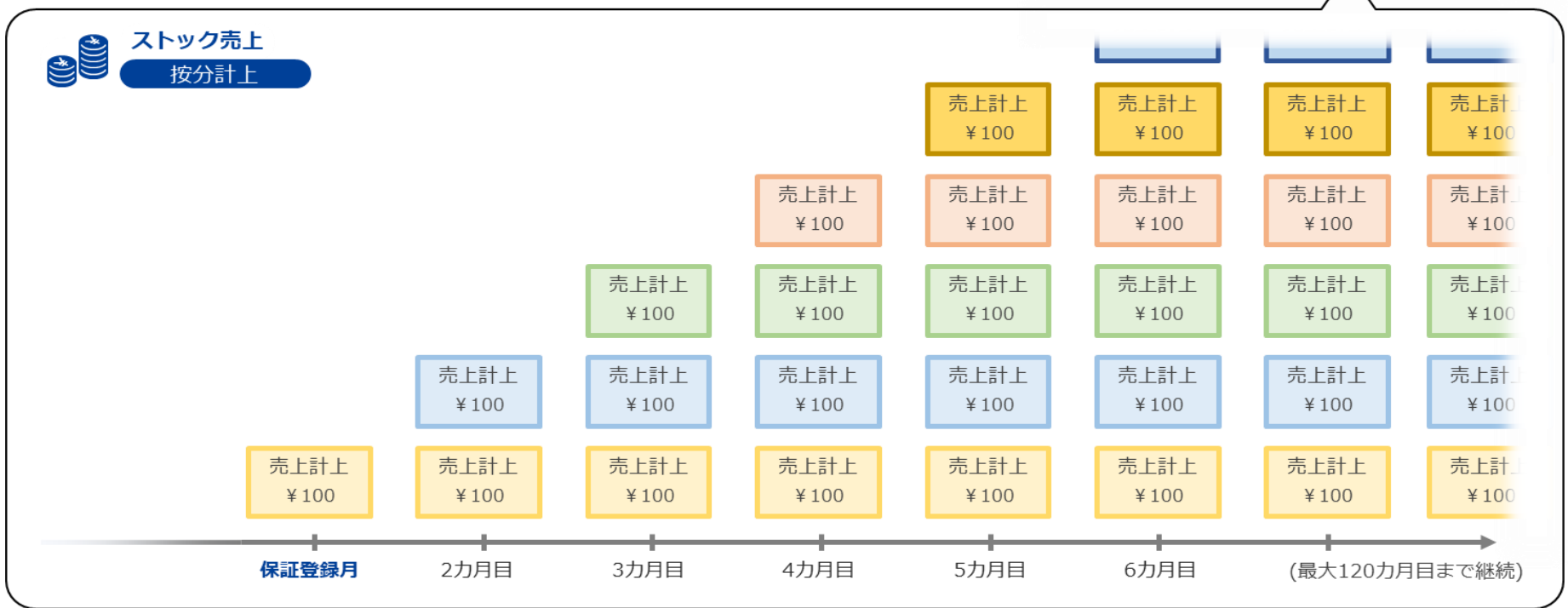


※保険契約については提携企業からの要望、取扱製品の故障リスク等を鑑み、修理費用のリスクヘッジのため一部の提携企業と製品を対象に保証期間と同一の保険期間の保険契約を損害保険会社と締結しております

ストック型収益として、延長保証サービスの売上は最長10年按分計上

(参考) 業務受託料12,900円、保証期間10年の場合

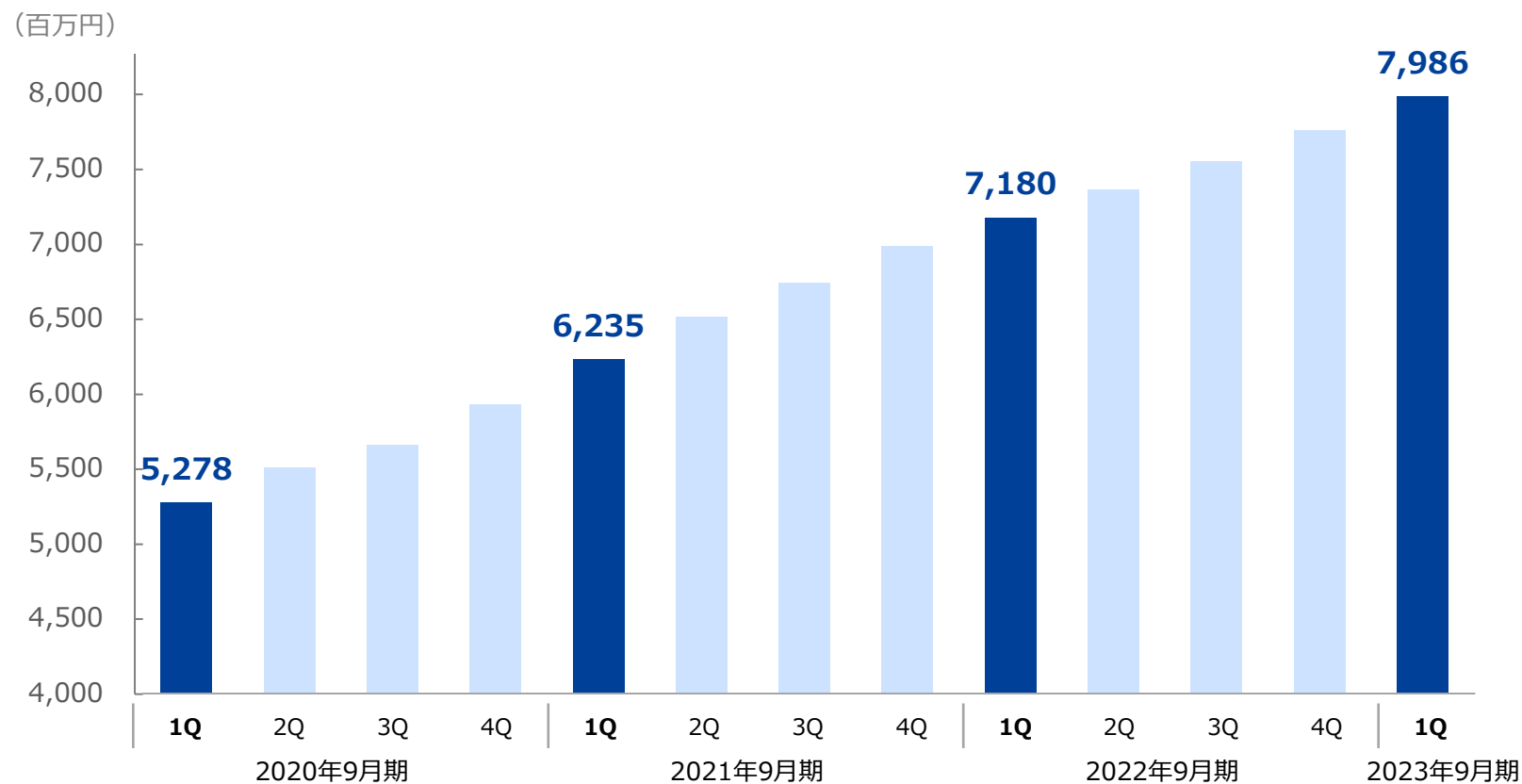
$$\left(\begin{array}{c} \text{業務受託料} \\ \text{¥12,900} \end{array} - \begin{array}{c} \text{事務手数料} \\ \text{¥900} \end{array} \right) \div \begin{array}{c} \text{保証月数} \\ \text{120ヵ月} \end{array} = \begin{array}{c} \text{ストック売上} \\ \text{按分計上} \\ \text{¥100} \end{array}$$



(※)事務手数料は会員登録、会員証発行等初月に発生する事務工数に対する手数料売上

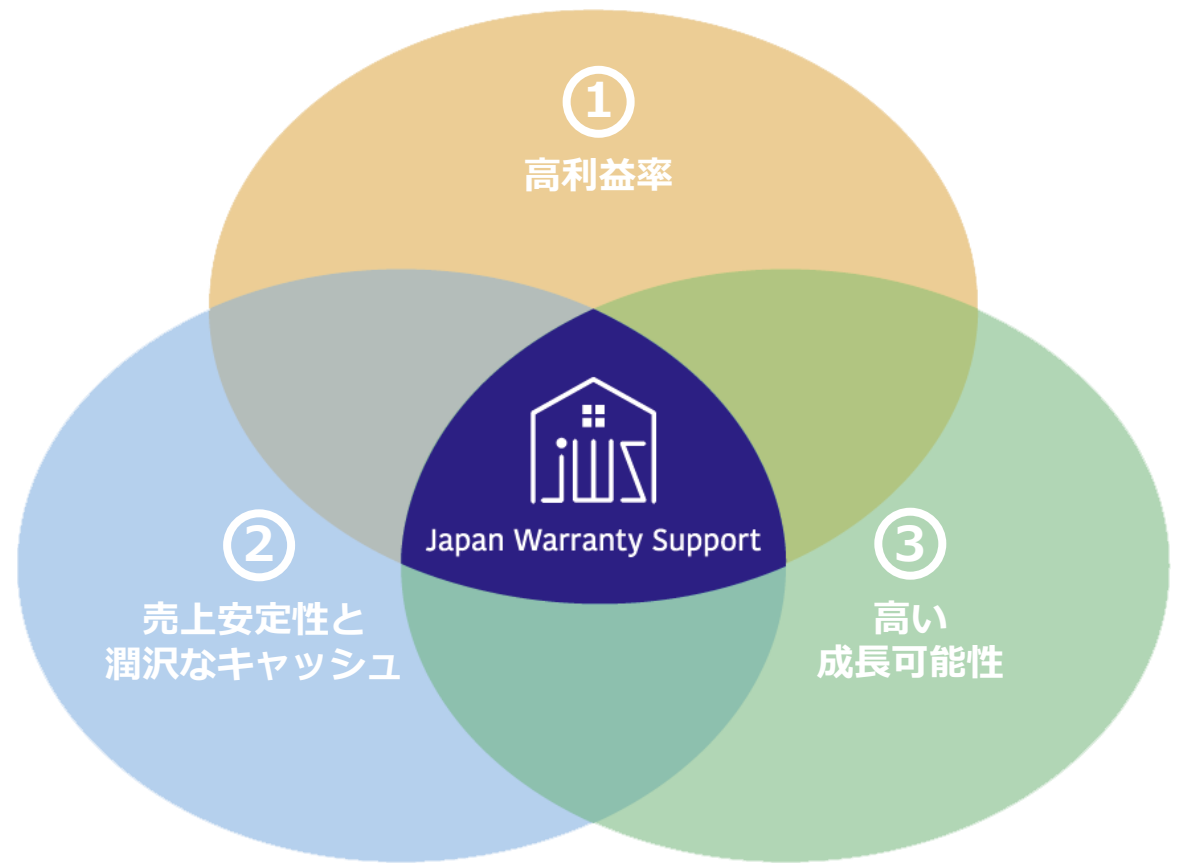
79億円がこの先10年間の売上の源泉となり、安定成長を下支え
 今後保有しているキャッシュは低リスクでの投資運用を拡大

前受収益・長期前受収益合計 推移

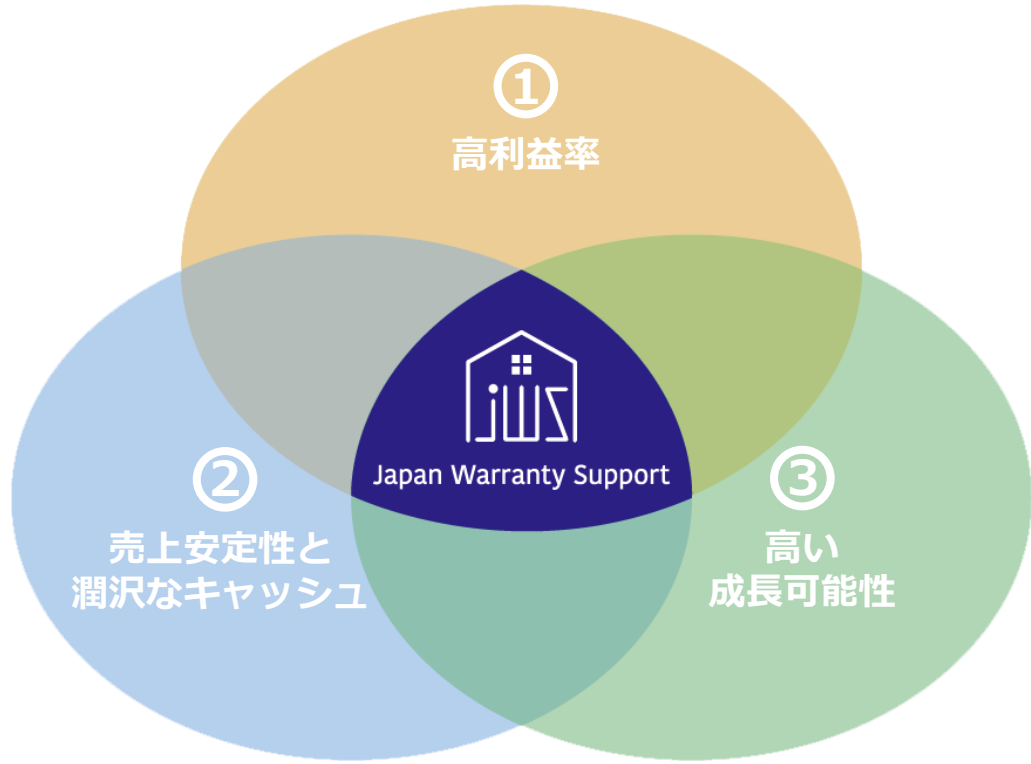




※詳細は2022年11月30日に開示しております
「事業計画及び成長可能性に関する事項」をご参照ください



東証グロース市場 **第5位**^(※)の売上高営業利益率 **38%**^(22/9期)



- ① 高利益率**
1. BtoBtoCのビジネスモデル
 2. 競合優位性
 3. マニュアル化とDX推進による少数精鋭での運営

※2021年11月～2022年10月に開示された決算短信より 当社は5位に相当 当社調べ

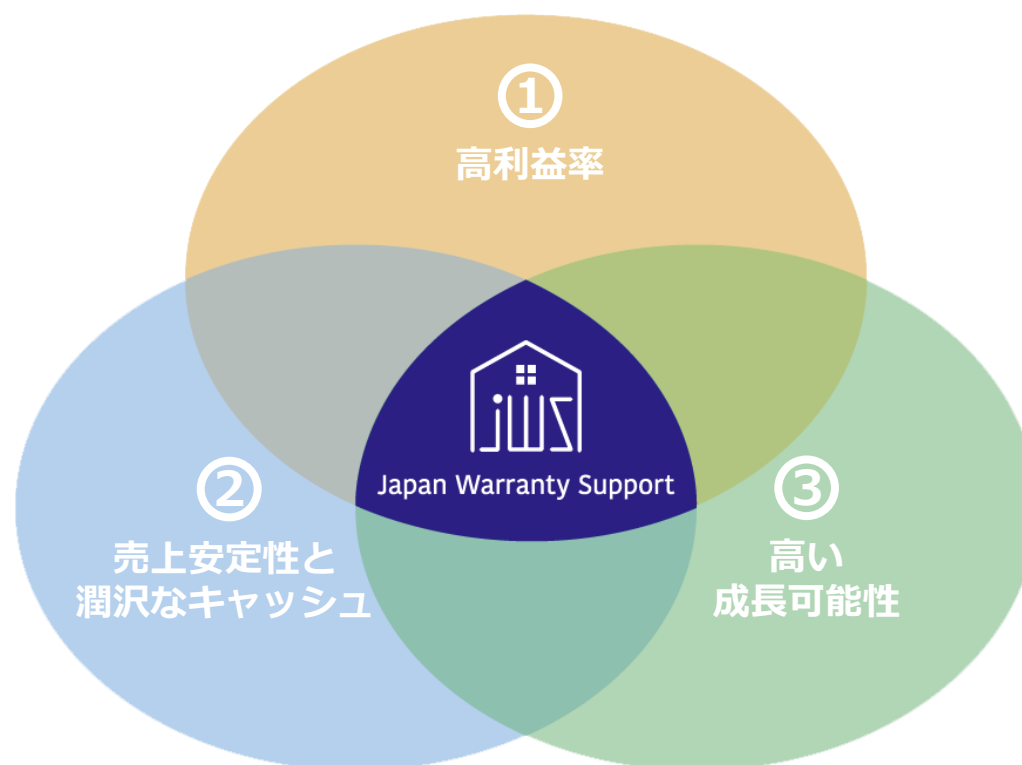
ストック型収益により、この先 **10年間** の売上を確保

また前受収益・長期前受け収益の残高は **79億円** を突破

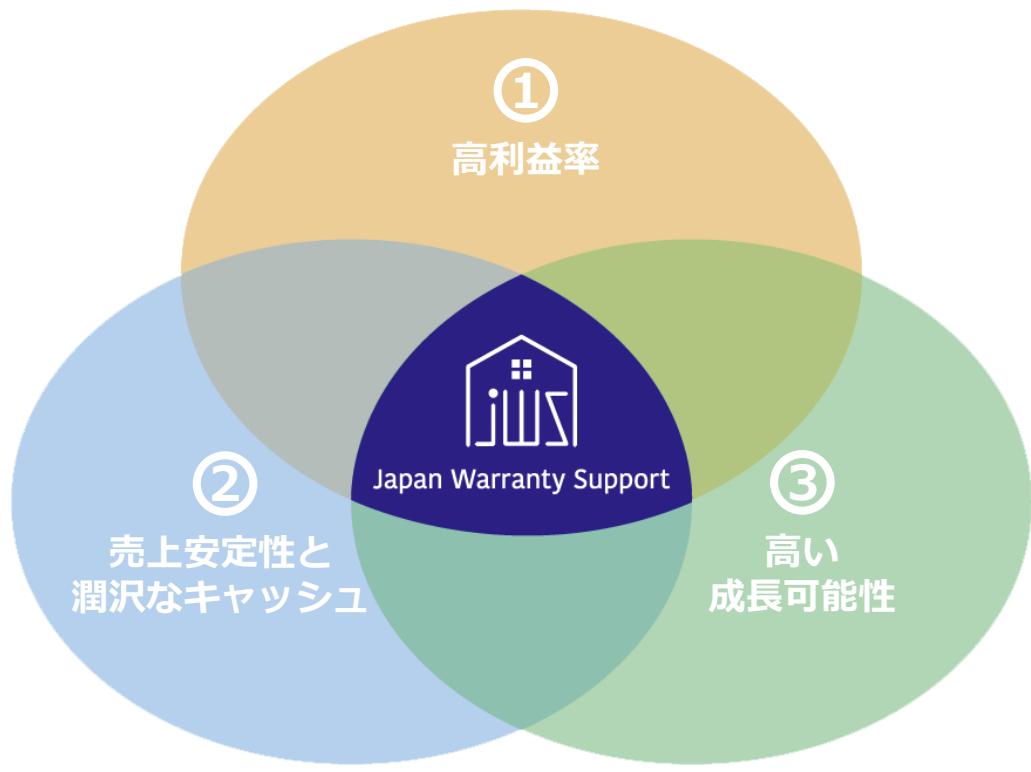
② 売上安定性と潤沢なキャッシュ

1. ストック型収益による売上安定性

2. ストック型収益による潤沢なキャッシュ



ストック型収益の**安定成長**を基盤に、フロービジネスによる**大幅成長**を計画



③ 高い成長可能性

Phase1.
住宅設備延長保証サービス
国内圧倒的No.1の確立

Phase2.
戸建て管理事業の展開

Phase3.
保証事業からの進化
新規ドメインへの参入・海外進出

当社は「SDGs(持続可能な開発目標)※」の課題解決を重要な経営課題と捉え、国際社会が追求する社会課題の解決に貢献することにより、企業価値の向上と持続的な社会の実現に取り組んでおります。

SDGsとの対応

住宅設備の延長保証サービスによる貢献



取り組み内容

○ 当社延長保証サービスの促進により、住宅設備の修理による「使う責任」及びごみの削減に貢献します
提携企業様とのパートナーシップにより、ともに成長を目指します

延長保証サービス運営方法の工夫による取り組み



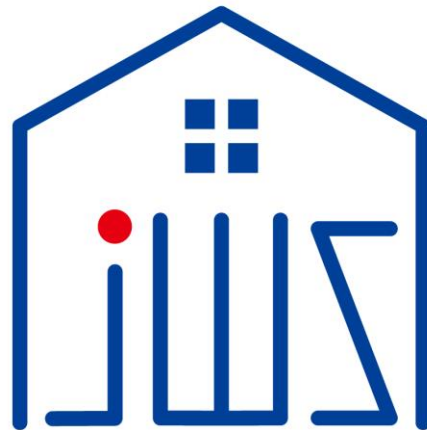
○ 紙の会員証廃止(デジタル会員証への移行)
紙の資源削減による森林保全を目指します
○ 働きやすい環境づくり
テレワークを推奨し個人、地域の持続可能な成長を目指します
コロナワクチン休暇、インフルエンザ予防接種の費用負担など、従業員とその家族が安心して働ける環境を目指します

その他取り組みによる貢献



○ 使用済み切手の公益社団法人への寄付
公益社団法人を通してアジアやアフリカの保険医療教育への協力
○ 各種団体への寄付
セーブザチルドレンへの寄付を行っています
公益財団法人を通じて「南スーダン難民の保健衛生」プロジェクトへの寄付を行っています
社内でのペットボトルキャップ回収を通して、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会」(JCV)の活動を応援しています。21/9期は6.3Kg(2,709個)のペットボトルキャップを回収し、3人分のワクチンに変えることができました

※ Sustainable Development Goals の略称で、2030年までの達成を目指して、豊かで活力のある未来を創るための17のゴールと169のターゲットを定め、2015年に国連で採択された世界規模の取り組み



Japan Warranty Support

免責事項

- 本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。
- 上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。

本資料・IR問い合わせ先

経営企画室

E-Mail : ir@jpwsp.jp